

# 代表質疑

3月4日の本会議で、各交渉会派（所属議員3人以上の会派）の代表者4人が平成28年度予算について質疑を行いました。要旨は次のとおりです。

## 少子高齢化時代に安心して暮らせるための施策の推進を



民主党 谷口 敏也 幹事長

**議員** 第4次基本計画の第1次改定で、危機管理を政策の基礎に位置付けた。今後の政策立案や政策実行にどのように影響するか。

**市長** 小・中学校における安全安心や災害時避難行動、要援護者の支援などで、より積極的な施策を展開できると考えている。

**議員** 新年度の認可保育園の申込者の50人以上が、現時点で入れない状況だ。両親がフルタイム正社員で内定が出なかったケースはどの程度あるのか。

**子ども政策部長** 全体の募集枠の約9割で発生している。今後、小規模保育所からの移行入所が増える3歳児枠の拡大、民間保育園の開設支援等を強化したい。

**議員** 新年度の学童保育所の待機児童は現時点で74人にのぼり、今年度在籍していたにもかかわらず待機となった事例も聞く。早急に対策を講じるべきだ。

**子ども政策部長** 必要性の高い児童が入所できるよう審査方法を工夫し、待機児解消の取り組みを強化する。待機児童の多い連雀学園等については、夏季休業

金利政策の影響／子どもの貧困対策と子どもへの投資／図書館サービス網の再編についてなど

## 市は、暮らしを守る防波堤の役割を発揮せよ



日本共産党 大城 美幸 幹事長

**議員** 市民の命を守る首長として、また、憲法9条を守る立場からも、平和安全法制廃止の立場を表明し、国へ発言すべきだ。平和安全法制及び辺野古の新基地建設について見解を伺う。

**市長** 国と県の間で司法判断を含めた動きがあり、その動きを尊重する立場のため、特に言うことはない。

**議員** 貧困と格差が社会問題化している。本当に困っている市民に手を差し伸べ支援するのが自治体の責務ではないか。貧困問題の解決に向けた支援策を伺う。

**市長** 国や都の動向を注視し、生活困窮者自立支援制度等も活用して、各部連携を取りつつ、引き続き、きめ細かく対応していきたい。

**議員** 小・中一貫教育では、教員の多忙化は依然として解決していない。多忙化解消には教員の増員が必要と考える。所見を伺う。

**教育長** 市費でスクールカ



井口特設グラウンド

**議員** 市民の命を守ることを第一義的に考えると、国民健康保険料の市民負担軽減を優先すべきだ。

**市民部長** これ以上の市財政からの赤字補填は、市民負担の公平性の観点から、

被用者保険等加入者の理解を得ることは難しい。〈その他の質問〉市長の政

## サステナブルなまちづくりの着実な推進を



自由民主クラブ 伊東 光則 幹事長

**議員** 幅広い年齢層に地域活動に参加してもらうことが本場の多世代交流だ。特に時間的に地域で活動できない20代、30代、40代の市民を取り込むことが課題と考える。取り組みを聞く。

**市長** 様々な事業において、PTAや、とりわけおやじの会が存在感を増している。事業の企画や運営に参加することを通して、更に地域での存在感、自己実現というものが生まれていく循環づくりが重要ではないかと考えている。

**議員** 今後も地域ケアネットワーク事業が発展するためには、取り組みを理解し、地域で活動してもらう人財の養成が必要だ。

**市長** 傾聴ボランティア等の福祉人財に活躍してもらえようなコーディネートや一層の社会活動をしたい人を支援する研修講座等の企画も重要と考えている。



傾聴ボランティア養成講座

**議員** 少子高齢化が進行している中で、子育てにやさしい環境と健康で生きがいを持って生活できる環境は重要だ。取り組みを伺う。

**市長** 従来の取り組みに加

え、多世代交流と多職種連携を推進していく。〈その他の質問〉支出抑制

## 不断の努力と運用で更なる高環境・高福祉を



公明党 寺井 均 幹事長

**議員** 平成28年度は自治基本条例が制定されて10年を迎える。本条例に基づき、参加と協働のまちづくりの理念の実践について聞く。

**市長** 憲法を記念する市民のつどい等を通じて、自治基本条例に基づく参加と協働の取り組みについての取りまとめをしていきたい。

**議員** 2025年問題が現実化していく中、多職種連携についてどのような取り組みを考えているか聞く。

**市長** 医師会等と協働で在宅療養推進協議会を設置し在宅医療と介護分野の多職種連携による課題の抽出や対応策の検討を行いたい。

**議員** 本年10月にオープン予定の上連雀分庁舎(仮称)について、これまでの利用団体等へのサービスの確保など今後の対応を聞く。

**市長** 建て替え前と同様に使用料は免除するとともに、会議室の利用についても柔軟な対応を図りたい。

**議員** 児童館と社会教育館の活動の連携など、本市における多世代交流の拠点づくりの考え方を聞く。

**市長** 世代間交流や地域の教育力向上を実現できる交流拠点づくりを進めたい。

**議員** 地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢者が安心して地域に住み続けられるための地域課題の検

の取り組み／大規模災害への備え／教員の不祥事再発防止についてなど

代表質疑及び一般質問の模様は、市議会ホームページ（一面題字下参照）の本会議録画継でご覧になれます。